

## 5. 地域への波及効果

バイオマス産業都市構想を実現化することにより、国全体のエネルギー供給体制の一翼を担うことに加え、次のとおり「本市が目指す将来像の実現」が図られます。

(1) 「豊かな自然を次世代に引き継ぐまち」の実現	
効 果	内 容
①し尿汚泥等を燃やさないことによる化石燃料消費の削減	し尿汚泥等を焼却処分するために使用している燃料が不要となり、化石燃料消費の削減効果につながります。 《利用コークス316トン等の削減効果》
②木質バイオマス発電による化石燃料使用の削減	木質バイオマス発電を導入することにより、化石燃料由来の電力生産を削減できます。 《石炭換算で年間11,230トンの削減効果》
③バイオガス発電による化石燃料使用の削減	バイオガス発電を導入することにより、化石燃料由来の電力生産を削減できます。 《石炭換算で年間412トンの削減効果》
④バイオマス輸送にかかる化石燃料使用量の削減	市内にバイオマス利活用施設が設置されることにより、バイオマス輸送にかかる燃料使用量を削減できます。
⑤バイオマス発電に伴う温室効果ガスの削減	化石燃料由来の電力使用を削減することにより、温室効果ガスの発生量を削減できます。 《CO2年間発生量70,288トンの削減効果》
⑥嫌気性発酵処理導入に伴う温室効果ガスの削減	嫌気性発酵処理を導入することにより、メタンの大気への放出量が削減されます。

(2) 「安全で住みよいまち」の実現	
効 果	内 容
①環境型社会の形成	バイオマス利活用施設を市民の環境学習の場としても位置付けることで、市民の環境意識の向上を促します。
②悪臭及び汚染水の発生防止	好気性発酵処理を導入することにより、悪臭と汚染水の発生が防止され、生活環境が改善されます。
③流木被害の減少	林地残材の活用を進めることにより、台風等の大雨時に発生する下流域や海岸部の流木被害の減少が期待されます。 《漁港流木処分費用 トンあたり37,100円》
④ダイオキシン発生量の削減	し尿汚泥等焼却処分ごみを減量化することにより、ダイオキシンの発生が削減されます。
⑤発電機能の分散化効果	地域内にエネルギー供給施設を整備することで、災害に強いまちづくりを実現します。

(3) 「産業を振興し仕事と地域を誇れるようなまち」の実現	
効 果	内 容
①地元雇用の創出	バイオマス関連施設の整備(バイオマス関連産業の誘致)により、地元雇用が創出されます。 《65人の雇用増を見込み》
②地域経済の活性化	新たな産業の創出とその経済波及効果により、地域経済の活性化が期待されます。 《発電所等建設にかかる投資見込額 62億円など》

③農業・農村の活性化	乾燥污泥の堆肥利用により農地の地力が回復することに加え、安心安全な農産物の生産が期待できます。
④林業・山村の活性化	未利用状態だった林地残材に資源としての価値を付けることにより、山元への利益還元が期待できます。 《管内素材取引見込み価格 6億6千万円》

(4) 本市財政効果	
効 果	内 容
①ごみ焼却施設処理コストの削減	ごみ処理施設への持ち込みごみ量を減量化することにより、焼却処理費用が削減されます。 《燃料費ほか4,200万円の削減効果》
②ごみ処理関連施設の延命化	焼却ごみ量の減量化による焼却炉の延命化が期待され、飛灰排出量の減量は埋め立て処分場の延命化にも繋がります。
③し尿・浄化槽・集落排水污泥処理コストの削減	し尿等のエネルギー化により、ごみ焼却施設に対する処理負担金が削減されます。 《処理手数料1,200万円の削減効果》
④下水污泥処理コストの低減	下水污泥のエネルギー化により、現行のセメント原料化負担金と運搬費用の削減が期待されます。 《処分手数料4,700万円の軽減・運送手数料860万円の削減》



## 6. 実施体制とフォローアップ

### (1) 実施体制

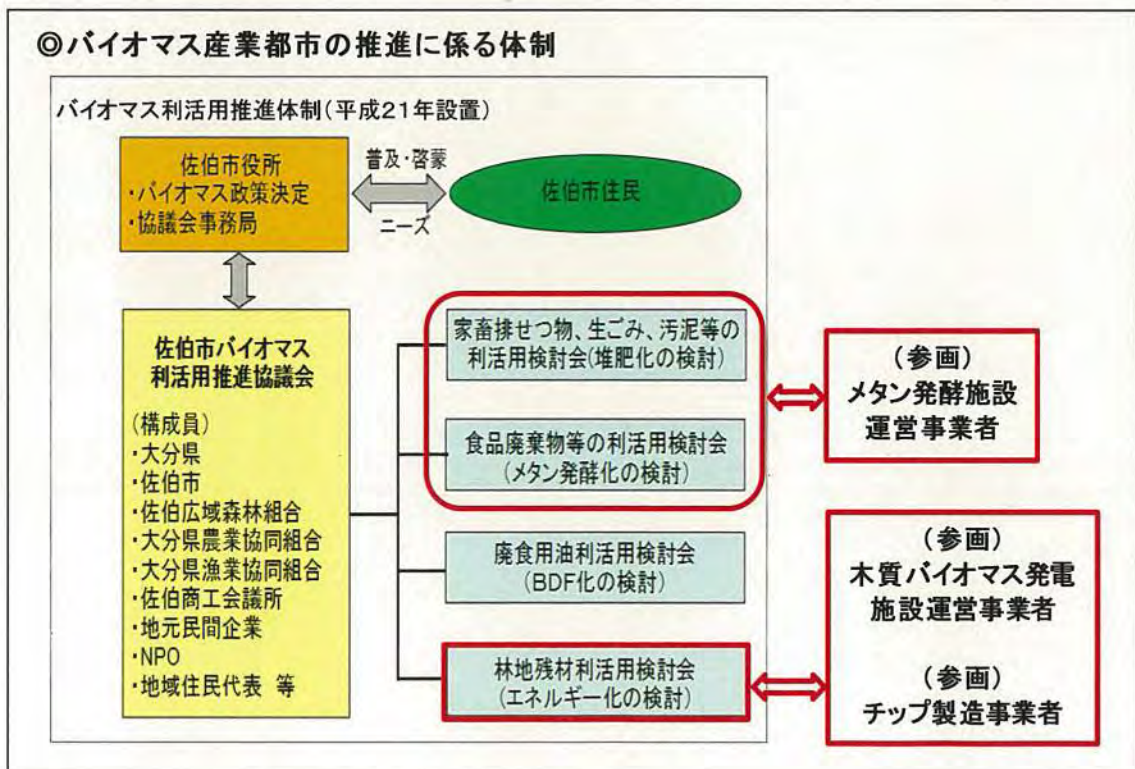
今回の「バイオマス産業都市構想」の策定の主旨は、既存の「バイオマスタウン構想」をより発展させることです。よって、既に地域のバイオマス利用の具体的な推進を目的として設置され、地域の主要な関連各署で構成する「佐伯市バイオマス利活用推進協議会」を中心に事業を展開します。

今回のバイオマス利活用施設の整備は、「企業誘致」手法を基本に進めますが、個別の事業ごとの検討会に各事業を実施する企業も参画します。

市民、団体や企業、そして行政が共同して行う地域のバイオマスを生かす取り組みに、産業化の核となる「バイオマス利活用施設の誘致」を加えることで、バイオマス産業都市化の実効性をより高めます。

### (2) フォローアップの方法

バイオマスの活用状況等を定期的に「佐伯市バイオマス利活用推進協議会」や「佐伯市環境審議会」へと報告し、両会議の助言や進言を受けながら、取り組み状況の確認及び評価作業を行います。そして、適宜実施方法等の改善を行うことで、より効率的な地域バイオマス活用を推進します。



今回特に見直しをしなかった他のバイオマスについても両会議に利用等の状況を報告し、引き続き地域バイオマス全体の利活用促進に努めます。

さらに、「バイオマスタウン構想」や「バイオマス産業都市構想」について、新しいバイオマス利活用技術の開発状況等を見定めながら、時代の要求にあわせた見直しを柔軟に進めます。

本市が所在する大分県は、再生可能エネルギーの電力供給割合が全国1位（「環境エネルギー政策研究所」調査）という再生可能エネルギー分野の先進地です。大分県では、地熱や水力、バイオマスなどの自然環境に恵まれた地の利を生かし、地域のエネルギー産業をさらに発展させるため、「大分県エコエネルギー導入促進条例」や「大分県新エネルギービジョン」を策定する等、再生可能エネルギーの積極的な活用と産業化に取り組んでいます。同様に九州農政局や九州経済産業局においても再生可能エネルギーやバイオマスの活用に関する様々な事業展開を行っていることから、本市バイオマス産業都市構想の実現に向け、国や大分県をはじめとする関係団体との連携を図ります。

一方、先般の地方制度調査会は、国に対し「市町村の柔軟な広域連携を可能とする制度づくり」にかかる指摘をしました。よって、今後は様々な行政分野における近隣市町村との間の連携が進んでいくことが予想され、このことは、環境政策やエネルギー政策、産業振興政策においても例外ではありません。よって、今回の構想では賦存量が少ないためにエネルギー化を検討しなかった外のバイオマスについても、複数の市町村が連携することにより有益な資源となりうる可能性があることから、今後は周辺市町村との共同利活用を視野に入れた検討も行います。



## 7. 他の地域計画との有機的連携

本市最上位計画である「佐伯市総合計画」をはじめとする以下の地域計画と連携し、構想の実現を目指します。

計画の名称	策定期期	備 考
第1次佐伯市総合計画 (後期基本計画)	平成25年3月	豊かな自然を守り健全な生態系を維持するための取り組みを行うとともに、豊かな自然を生かした産業の振興を図る。
佐伯市行財政改革推進プラン (第2期)	平成22年3月	自助・共助・公助の考え方を基本に、将来に負担を残さないよう中期的な行財政運営の目標を定める。
さいき903エコプラン (佐伯市環境基本計画)	平成25年3月 (改訂)	人と環境が共生し、豊かな自然を未来に引き継ぐまち「佐伯」を目指す。
佐伯市バイオマスタウン構想	平成21年3月	バイオマス資源の利活用を推進し、地球温暖化防止に寄与すると共に地域の活性化を図る。
木質バイオマスエネルギー 有効利用検討調査	平成18年2月	市の森林資源を生かし、エネルギー問題と地球環境問題対策を実施する。
佐伯市地域新エネルギービジョン	平成17年2月	市内における新エネルギー導入の可能性を調査。
佐伯市一般廃棄物処理計画	平成21年3月	ごみの減量化と再資源化の促進及び適正処理処分をするための施策を総合的かつ計画的に推進する。
佐伯市生活排水処理施設整備構想	平成22年3月 (改訂)	効率的かつ適正な生活排水処理施設の整備手法について検討する。
佐伯市森林整備計画	平成25年3月 (改正)	森林機能を最大限に発揮できるよう適正な森林施業を行い、健全な森林資源の維持造成を推進する。
佐伯市農村振興計画	平成20年3月	活力ある農村として持続的な発展を図るための施策を総合的、計画的に推進する。
佐伯市食育推進計画(第2次)	平成25年3月	「食のまち佐伯」を目指し、食材を育む基盤としての山、川、海の良い環境を保全する施策等を展開する。
「全国の水源の里連絡協議会」 の取り組み		水源を有する179市町村で構成する協議会。水源地域の森林保全を目指し、集落再生に向けた施策の調査検討を行う(佐伯市：副会長)。
佐伯市生活排水処理基本計画		※策定作業中
佐伯市商工業振興計画		※策定作業中



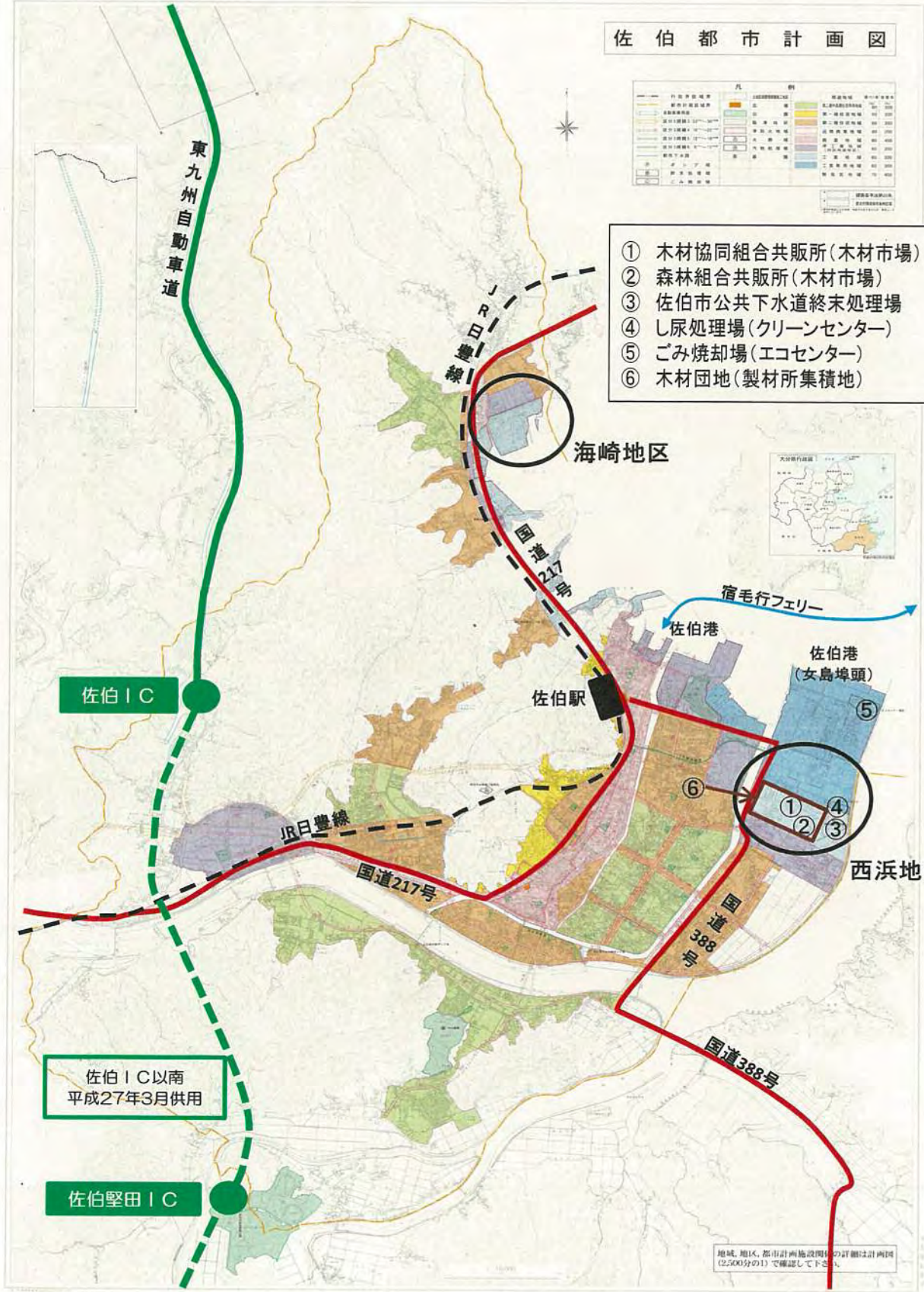




佐伯都市計画図

凡 例		地積率	
計画区域境界	緑地	第一種住居地域	1/200
計画区域外境界	公園地	第二種住居地域	1/200
用途地域境界	公園地	第三種住居地域	1/200
用途地域境界	公園地	第一種商業地域	1/100
用途地域境界	公園地	第二種商業地域	1/100
用途地域境界	公園地	第三種商業地域	1/100
用途地域境界	公園地	第一種工業地域	1/100
用途地域境界	公園地	第二種工業地域	1/100
用途地域境界	公園地	第三種工業地域	1/100
用途地域境界	公園地	第一種農用地	1/100
用途地域境界	公園地	第二種農用地	1/100
用途地域境界	公園地	第三種農用地	1/100
用途地域境界	公園地	第一種森林地域	1/100
用途地域境界	公園地	第二種森林地域	1/100
用途地域境界	公園地	第三種森林地域	1/100
用途地域境界	公園地	第一種河川敷	1/100
用途地域境界	公園地	第二種河川敷	1/100
用途地域境界	公園地	第三種河川敷	1/100
用途地域境界	公園地	第一種埋立地	1/100
用途地域境界	公園地	第二種埋立地	1/100
用途地域境界	公園地	第三種埋立地	1/100
用途地域境界	公園地	第一種留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第二種留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第三種留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第一種埋立留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第二種埋立留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第三種埋立留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第一種埋立留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第二種埋立留置場	1/100
用途地域境界	公園地	第三種埋立留置場	1/100

- ① 木材協同組合共販所(木材市場)
- ② 森林組合共販所(木材市場)
- ③ 佐伯市公共下水道終末処理場
- ④ し尿処理場(クリーンセンター)
- ⑤ ごみ焼却場(エコセンター)
- ⑥ 木材団地(製材所集積地)



佐伯 I C

佐伯 I C以南  
平成27年3月供用

佐伯堅田 I C

地域、地区、都市計画施設関係の詳細は計画図(1/2500分の1)で確認して下さい。